

会社の概要 (平成27年3月31日現在)

商号 オカダアイオン株式会社
OKADA AIYON CORPORATION

本社 〒552-0022
大阪市港区海岸通4丁目1番18号
TEL. 06-6576-1281

設立年月日 昭和35年9月1日

資本金 1,473百万円

従業員数 164名

主要な事業内容

- 油圧ブレーカ TOPシリーズ、超低騒音Sシリーズ
- 圧碎機 TS-WBクラッシャー、TS-Wカッター、TS-Sカッター、カットクン、コワリクン、マグネットコワリクン
- 環境関連機器 ビッグバス、ログバスター、タブグラインダー、ウッドホグ、トロンメルスクリーン、サイレントアマダス、アイオン与作、プラント関連機器

主要な営業所

- 東京本店 〒175-0081
東京都板橋区新河岸2丁目8番25号
TEL. 03-3975-2011
- 関西営業所 〒552-0022
大阪市港区海岸通4丁目1番18号
TEL. 06-6576-1261
- その他営業所 札幌営業所・盛岡営業所・仙台営業所・中部営業所・北陸営業所・広島営業所・四国営業所・九州営業所・海外事業所

役員 (平成27年3月31日現在)

代表取締役社長	荻	田	俊	幸
取締役	打	田	幸	生
取締役	広	崎		茂
取締役	折	尾	卓	児
取締役	篝		耕	二
取締役	岡	田	祐	司
常勤監査役	梶	原	直	樹
監査役	戸	奈	常	光
監査役	稲	田	正	毅

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日 定時株主総会 毎年3月31日
剰余金の配当 毎年3月31日
(当社は中間配当制度を採用しておりません。)
上記のほか必要と認めるときは、あらかじめ
公告いたします。

単元株式数 100株

株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社

事務取扱場所 証券代行部
(郵便物送付先) 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 0120-782-031 (フリーダイヤル)

インターネット http://www.smtb.jp/personal/agency/
ホームページURL index.html

公告の方法 電子公告とし、当社ホームページに掲載
いたします。なお、電子公告によること
ができない事故その他やむを得ない事由
が生じたときは、日本経済新聞に掲載
いたします。
アドレスは、http://www.aiyon.co.jp/

上場証券取引所 東京証券取引所

大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	628	9.09
岡田勝彦	369	5.34
岡田眞一郎	350	5.06
極東開発工業株式会社	300	4.34
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	276	4.00
株式会社三井住友銀行	242	3.51
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/JASDEC/FIM LUXEMBOURG FUNDS	225	3.25
株式会社三菱東京UFJ銀行	220	3.18
株式会社池崎鉄工所	212	3.07
株式会社テイサク	185	2.67

(注)持株比率は、自己株式(325,220株)を控除して計算しております。



OKADA Report

第56期 株主レポート

平成26年4月1日 ▶ 平成27年3月31日



新中長期経営計画が始動!! 2020年を見据えて更なる飛躍を目指す。



代表取締役社長
菊田 俊幸

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、消費増税に伴う反動減が一時的に顕在化しましたが、円安等の追い風に加え構造改革も効いて、企業業績は堅調に推移し、雇用・所得環境も改善する等、景気は緩やかな回復基調にありました。

また、当業界におきましては、国内市場では復興需要については一段落したものの、東京オリンピック・パラリンピックに向けたインフラ整備や首都圏を中心とした耐震建替需要が底堅く、受注環境は概ね好調でした。一方、海外市場ではマイニング市場の低迷や中国・新興国の成長鈍化などはあったものの、米国に加え欧州も緩やかな回復基調にあって業務環境は概ね改善いたしました。

このような環境のもとで当社グループは、主力商品の圧砕機、油圧ブレーカ、環境関連機器の販売に注力しました結果、当連結会計年度の業績は、売上高11,943百万円(前年同期比15.1%増)、営業利益892百万円(前年同期比3.0%増)、経常利益947百万円(前年同期比13.1%増)、当期純利益574百万円(前年同期比16.9%増)の5期連続の増収・増益となり、過去最高売上・最高益を更新することとなりました。

引き続き、全社一丸となり更なる飛躍を期する所存でございます。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご支援・ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

Q | 中長期経営計画「ARCH2020」についてお聞かせ下さい

A | 当社は、2015年度から2017年度までを1stステージ、2018年度から2020年度までを2ndステージとする中長期経営計画「ARCH2020」を策定いたしました。計画を通して、「一流のプロ集団」による、「一級の製品・サービス」により、「業界NO.1の企業グループ」を目指してまいります。

計画実現に向けた3つの戦略についてご説明いたします。

① 国内戦略

当社グループは生産から販売、メンテナンスまでを一気通貫で対応できる強みを持っており、この強みを更に強化してまいります。

具体的には、2015年度末に主力工場を増設し、生産能力の飛躍的拡大と効率的な生産体制の両立を図ります。



アイヨンテック 朝霞工場 (完成予定図)

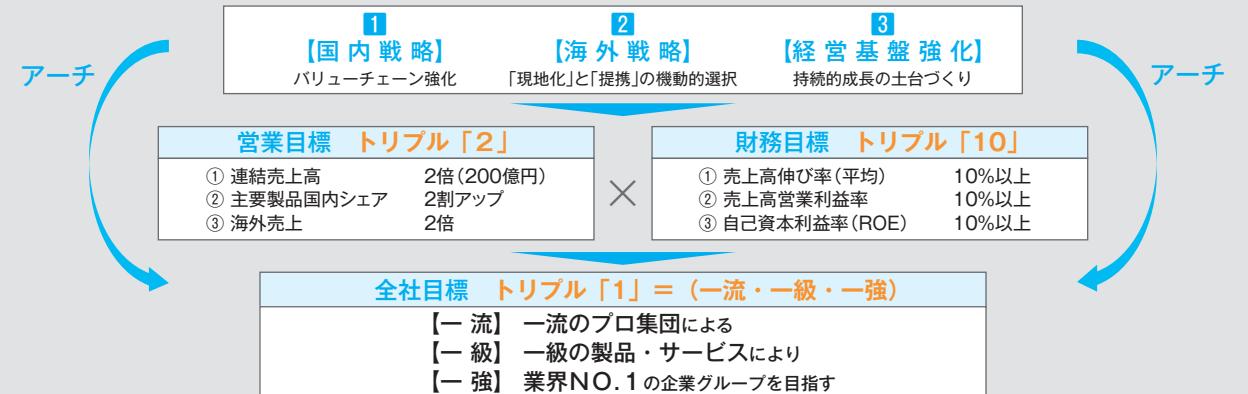
また東京オリンピック・パラリンピックに向けたインフラ整備や耐震建替需要の高まりに向け、首都圏を中心とした営業戦略の増強を図ってまいります。更に、当社売上の約20%を占める部品・修理サービス等のアフタービジネスを増強すべく、ベテラン社員を配置した専門部署を新設いたしました。



東京メンテナンスセンター

中長期経営計画「ARCH2020作戦」骨子

トリプル「1」を目指して、2020年に橋をかける。



② 海外戦略

当社独自で拠点を展開する「現地化」と、各国現地有力代理店との「提携」を機動的に選択し、海外売上を従来比2倍にすることを目指しています。

具体的には、海外売上の約7割を占める北米はダラス支店を増設して、3拠点体制といたします。また欧州・東南アジアを中心に現地有力代理店との提携戦略を加速します。これら海外現地ニーズを吸い上げ、現地仕様の機種を投入していく予定です。



ベルギーでの技術トレーニング

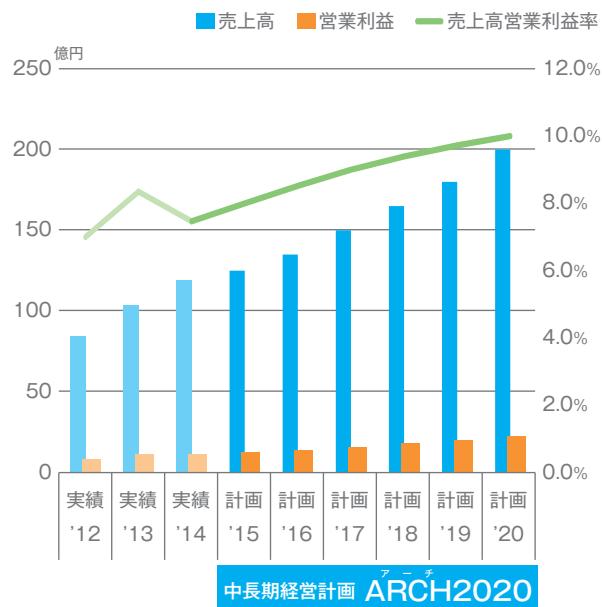
③ 経営基盤強化

2020年に向けた飛躍的成長と、以後の持続的成長を可能にするため、経営基盤作りにも取り組んでまいります。

従来の経営理念に加えて、企業として、また、オカダアイヨンの社員としてあるべき姿を示した企業行動規範・社員行動規範を策定いたしました。

これらを通じて目指すべき価値を全社で共有し、品質の向上と維持、安全・環境・災害等へのリスク対応、人材の確保・育成・活用等経営の土台づくりをしっかりと行ってまいります。

Q 業績の具体的な計画はどのようになっていますか？



A 中長期経営計画では、重点営業目標として「トリプル2」を掲げました。

これは①連結売上高を約2倍、②主要製品国内シェアを約2割アップ、③海外での売上を約2倍にしようとするものです（※2014年度比）。

又、重点財務目標として、「トリプル10」、すなわち①売上高伸び率（平均）10%、②売上高営業利益率10%、③自己資本利益率（ROE）10%以上を掲げました。

まず来期（2016年3月期）は売上高125億円、営業利益10億円、経常利益10億円、当期純利益6億5,000万円を目指しておりますが、増産体制や海外展開の加速、部品・修理体制の増強等に伴って更

に成長のスピードを早めてゆき、2020年3月期には売上高200億円、営業利益20億円、経常利益20億円、当期純利益12億円を達成し、上記「トリプル2」、「トリプル10」を実現したいと考えております。

Q 新商品の予定はありますか？

A 先日東京ビッグサイトで開催された「2015NEW環境展」にて新商品を発表いたしました。

主な商品は、新型SRC解体用圧砕機（TSRC-1300V）と大型コワリクン（OSC-500A）モデルチェンジです。



TSRC-1300V

新しいビルの柱・梁の部分には、コンクリートの中に鉄筋が入っているだけではなく、より強固な建

物とするために鉄骨も入っています。こうした建物はSRC構造と言われ耐久性・耐震性に優れるものの、従来の圧砕機では解体が難しくなっています。

そこで新型SRC解体用圧砕機では、コンクリート破碎用と鉄骨切断用の2種類の特殊刃を装備している点が特徴です。

コンクリートの寿命は50年前後である為、高度成長期に建てられた建物の解体需要はますます増えてくるものと見込まれます。解体の対象物は、今年3月の国立競技場解体等にみられるように、大規模構造物が増えてくるものと予想されます。

大規模構造物の解体の為、取付ショベルも大型化し、アタッチメント自体も大型化が見込まれています。今回のコワリクンのモデルチェンジでは、破碎力を高めつつも軽量化を図り、軽快な操作性を実現しながら大型化している点が特徴です。

Q 株主の皆さまへひとことお願いします

A 当期の配当につきましては、1株につき18円とさせていただきます。今後は中長期経営計画の進捗状況を考慮に入れながら、配当性向30%・DOE（資本配当率）3%を目指してまいります。

当社は今後も「社会に存在価値ある会社」を追求し、更なる企業価値向上と株主の皆さまへの利益還元に努めてまいります。

株主の皆さまには、今後とも変わらぬご支援・ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

アタッチメント(建物解体)



油圧ブレイカ

用途に応じ低騒音仕様・水中仕様等の様々な現場で活躍する基本的なアタッチメントです



たたく

コンクリート基礎・採石場・護岸工事



TS-WBクラッシャー

圧倒的な破砕力と開口幅でシエアーNo.1



サイレントコワリクン

スピーディーなコンクリート小割作業でシエアーNo.1

つぶす

コンクリート建物

海

街

つかむ

スクラップ・リサイクル

切る

鉄骨建物・スクラップ



サイレントグラップル

大小・長短・軽重と様々な物をがっちり掴んで回転も可能、人間の感覚で作業ができます



TSカッター

特殊形状のカッター刃で切断物を逃さず、色々な形状の鉄骨・鉄筋等を火力を使わずに安全に切断します



環境機械(木質)

ログバスター

間伐材を木質バイオマス発電所で使用される最適なサイズの燃料チップに細破砕します



チップ化

間伐材・剪定枝
高速回転破砕



粗破砕

廃材・間伐材
中低速回転破砕

ビッグバス

特殊形状の破砕刃と油圧システムで金属片・石等の異物にも対応して幅広い廃棄物を破砕します

木質系スクリーン

ふるう



トロンメルスクリーン

ログバスター等の破砕機で作られた木質チップの粒度調整として円筒状のスクリーン形状と螺旋状のプレートで効率よく選別します

破砕機投入前の前処理

切る、裂く



アイオン与作

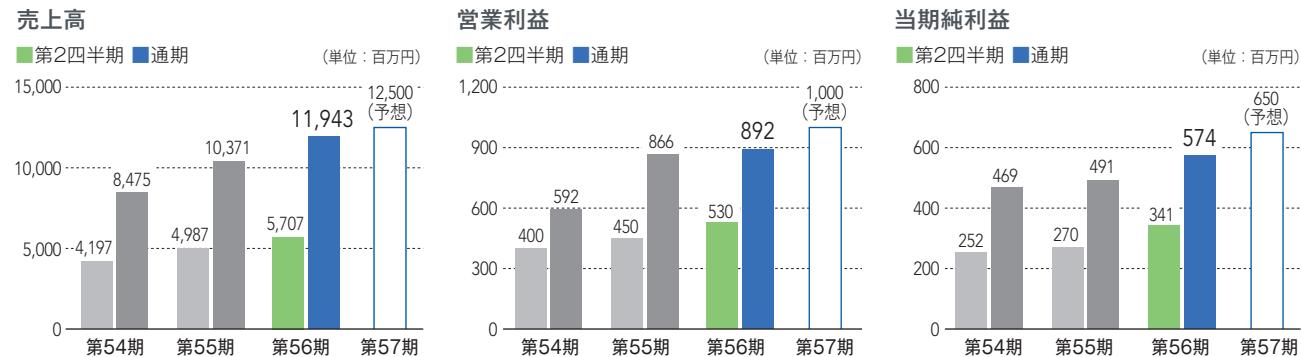


木っと・かっと

根っこから廃材までの様々な木材や廃プラ製品を独自のノコギリ刃で粗破砕後、回転破砕機に投入します



財務ハイライト



セグメント別の概況

国内事業

売上高 **10,052**百万円 前年同期比12.9%増

セグメント利益 **683**百万円 前年同期比14.3%減

売上高構成比 **84.2%**

- 主力の圧砕機は、主に首都圏を中心とした耐震建替工事等による需要が底堅く売上高は4,992百万円（前年同期比33.9%増）
- 油圧ブレーカは、レンタル需要の回復等により売上高は1,000百万円（前年同期比34.8%増）
- 環境機械は排ガス規制、再生エネルギー固定価格買取制度の先行き不透明感から一部様子見等の影響が出たこともあり売上高は1,278百万円（前年同期比10.4%減）
- 円安による輸入品の原価率上昇もあり増収ながら利益率の低下を招いた結果、セグメント利益は683百万円（前年同期比14.3%減）

海外事業

売上高 **1,890**百万円 前年同期比28.8%増

セグメント利益 **209**百万円 前年同期比193.4%増

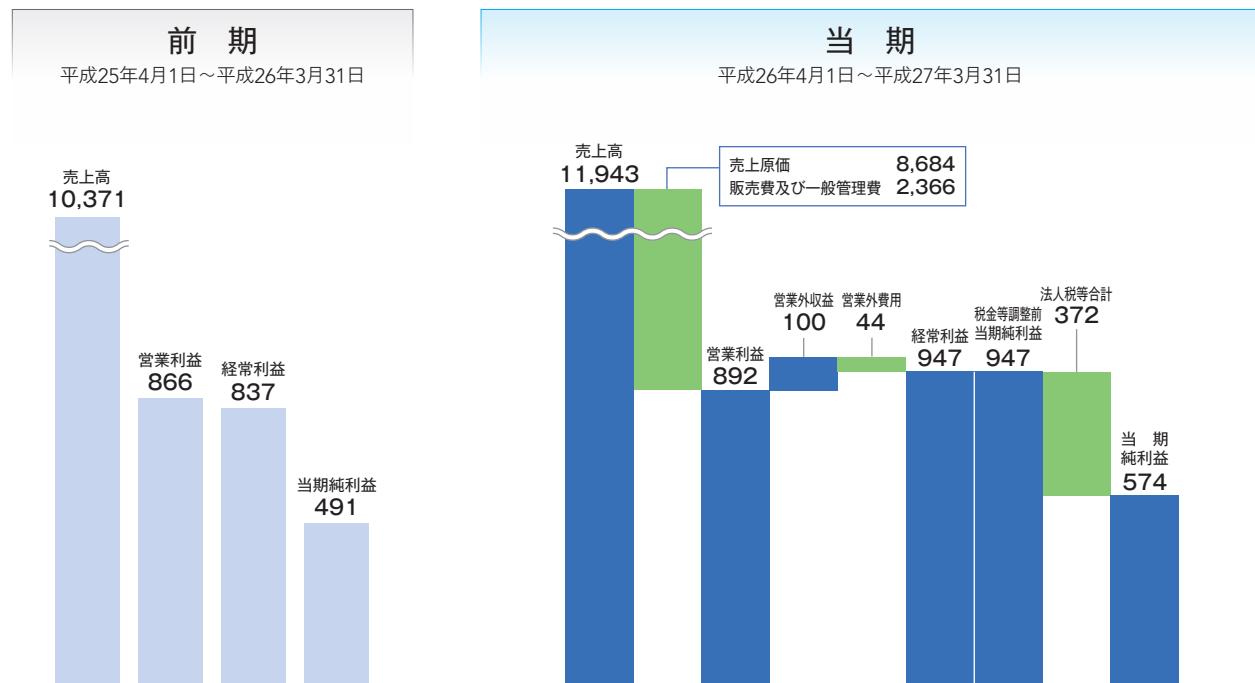
売上高構成比 **15.8%**

- 米国現法及び東南アジアの開拓を中心に販売を伸ばし売上高は1,890百万円（前年同期比28.8%増）
- 売上増及び円安効果等によりセグメント利益は209百万円（前年同期比193.4%増）と大幅な増益

品目別売上高構成比



▶▶ 連結損益計算書 (単位: 百万円)



▶▶ POINT 売上高

前年同期比15.1%増加

国内の底堅い需要に対し、主力商品の圧砕機、油圧ブレーキ、環境関連機器の販売に注力した結果、売上高は15.1%増加し、5期連続の増収となりました。

▶▶ POINT 経常利益

前年同期比13.1%増加

円安による原価上昇や販売管理費の増加があったものの売上高が増加したことにより経常利益は13.1%増加し、過去最高を更新いたしました。

▶▶ POINT 当期純利益

前年同期比16.9%増加

当期純利益は前年同期比16.9%の増加となり、前年度に続き3期連続で過去最高を更新いたしました。

▶▶ 連結貸借対照表 (単位: 百万円)



▶▶ POINT

流動資産

前年同期比1,374百万円増加

たな卸資産の増加955百万円、受取手形及び売掛金の増加838百万円などにより、全体では1,374百万円の増加となりました。

▶▶ POINT

固定資産

前年同期比611百万円増加

朝霞工場(株式会社アイオンテック)の隣地購入及び工場新築402百万円などにより、全体では611百万円の増加となりました。

▶▶ POINT

純資産

前年同期比617百万円増加

主に当期純利益574百万円を計上したことにより、全体では617百万円の増加となりました。

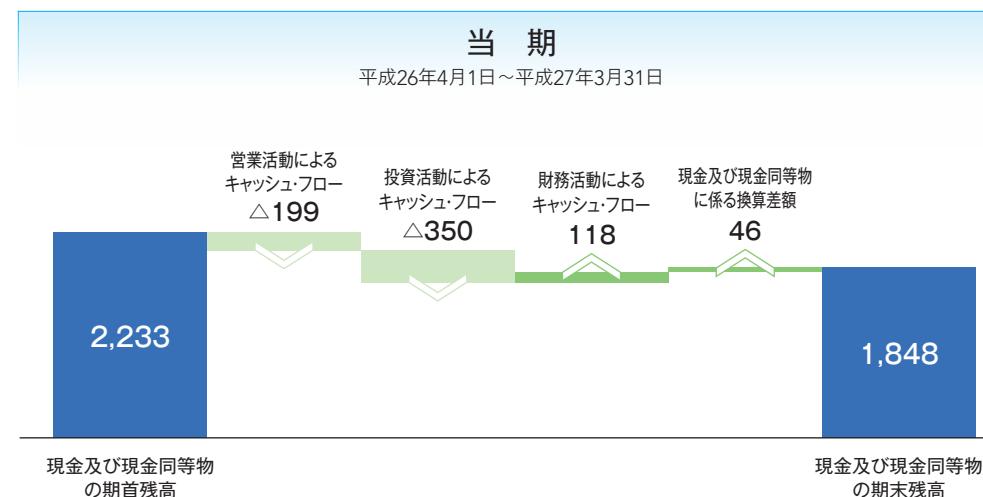
▶▶ POINT

現金及び現金同等物の期末残高

前年同期比384百万円減少

現金及び現金同等物は、利益の増加、仕入債務の増加など収入要因がありましたが、たな卸資産の増加、売上債権の増加、固定資産の取得があったことから、全体では384百万円減少の1,848百万円となりました。

▶▶ 連結キャッシュ・フロー計算書 (単位: 百万円)



オカダアイヨンの製品は、 環境主導型の多彩な製品を供給しています。

オカダアイヨンは、建物を解体する機械から、解体現場で発生した廃材をリサイクルする機械まで製造・販売しています。解体からリサイクルまで一貫して取り組み、多彩な商品群と細やかなサービスの提供を行う『環境主導型企业』です。



解体現場で発生した「コンクリート」や「木材」はこのように生まれ変わり、さまざまな場所で活かされています。

再生砕石の生産

専用施設にて一定の大きさに砕いていきます。

再生砕石

細かく砕かれたコンクリートは再生砕石としてリサイクルできます。



木材チップ

細かく切断された高品質なスライスチップは発電燃料や遊歩道に使用されます。



TOPICS

TOPICS 01

「2015NEW環境展」へ出展いたしました。

2015年5月26日（火）～29日（金）の4日間、東京ビッグサイトにて「2015NEW環境展」が開催されました。期間中、約16万8,000人の来場者数と大盛況のうちに終了し当社出展ブースにも5,000人を超えるお客様にお越しいただきました。出展内容といたしましては、新型アタッチメント、散水ロボット「散水小僧」を中心に展示しご好評をいただきました。今後も皆さまのお役に立てる機械を発表できるよう、社員一同努力してまいります。



TS-WBシリーズ



サイレントコワリクンシリーズ



散水小僧

TOPICS 02

株主優待制度を新設いたしました。

株主の皆様の日頃のご支援に感謝するとともに、当社株式への投資の魅力を高め、中長期的に当社株式を保有していただける株主様の増加を図ることを目的として、株主優待制度を新設いたしました。今後におきましても、全社一丸となって安定した業績を上げ更なる成長を目指してまいりますので、ご支援を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

対象株主様	毎年3月31日現在の株主名簿に記載された100株（1単元）以上を保有する株主様
優待内容	クオカード2,000円相当
贈呈時期	6月下旬発送予定
開始時期	平成27年3月31日現在の株主名簿に記載された株主様を対象に開始

TOPICS 03

ホームページをリニューアルいたしました。

<http://www.aiyon.co.jp/>

オカダアイヨン

検索

ご利用者の皆さまがより見やすく、より快適にご利用できるWebサイトを目指し、デザイン・構成を一新いたしました。



当社のホームページでも詳しい情報を開示しています。



TOPICS 04

営業所を新設いたしました。

当社は下記営業所、事業拠点を新設いたしました。

- ・横浜営業所（神奈川県横浜市都筑区）
 - ・東京メンテナンスセンター（埼玉県川口市）
 - ・東京オフィス（7月開設予定）（東京都千代田区霞が関）
- また、関西営業所は平成27年4月1日をもって、関西支店となりました。今後ともより細やかなサービスのご提供を目指してまいりますので、宜しくお願い申し上げます。

